

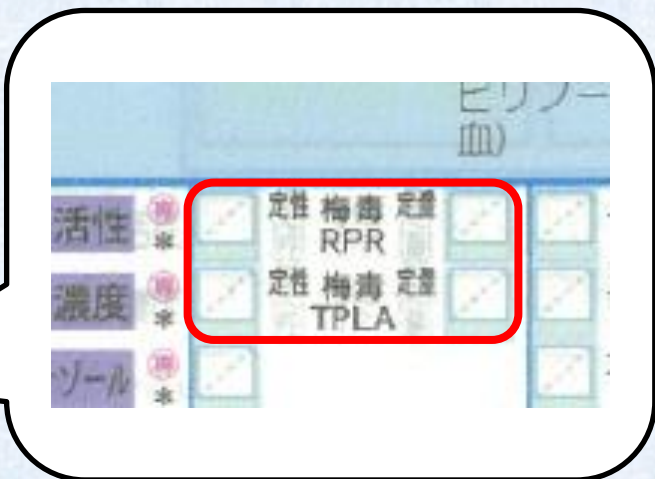
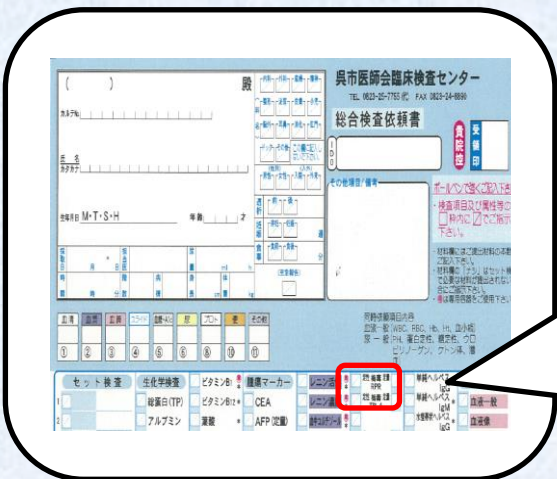
検査センター トピックス

第112号 R2.5月

梅毒の患者数が増加しています！

梅毒血清反応には 2つの方法があります

- STS法 (RPR)
脂質 (カルジオリピン) に対する抗体を検出する方法
- TP法 (TPLA FTA - ABS)
梅毒病原体に対する特異抗体を検出する方法



梅毒血清反応の結果の解釈

	RPR	TPLA	結果の解釈	確認試験
一致のとき	(-)	(-)	非梅毒	
	(-)	(-)	梅毒感染初期	1~数週間おいて再検査
一致のとき	(+)	(+)	梅毒	
	(+)	(+)	RPR 偽陽性と TPLA 非特異反応	FTA-ABS
不一致のとき	(-)	(+)	梅毒治療後 感染後長期間経過した梅毒	FTA-ABS
	(+)	(-)	TPLA 非特異反応	
不一致のとき	(+)	(-)	梅毒感染初期	FTA-ABS、経過観察
	(+)	(-)	生物学的偽陽性 (BFP)	自己免疫疾患などの検索 FTA-ABS

FTA-ABS は 感染早期から陽性化する (STS 法と同じ頃) ので、感染初期の確認試験として有用である

お問い合わせ 呉市医師会臨床検査センター TEL: 0823-25-7755

